

男鹿真山伝承館：実演 なまはげ登場～座るまで

家長はなまはげに新年の挨拶をし、なまはげに来てくれたことに対して感謝の言葉を述べ、酒が入った盃を渡します。これは、神の使いに尊敬の意を表し怒りを鎮めために行われます。なまはげは家長に対して、必要があるから毎年訪問するのだと伝えます。訪問しなければ、村人たちは怠け者になり、病気が蔓延するからだと言います。病気について述べるのは、なまはげは家々から邪悪な気を追い払って住人が不幸の恐れなく新年を迎えられるようにするお清めの役割も担っていることに関連しています。

次に話題は、なまはげが飲んでいる酒に移ります。家長は、同居している高齢の母がその酒を地元のあきたこまち米を使ってなまはげのために特別に作った旨を伝えます。この秋田の有名な品種は普通は酒造りには高級すぎるとされており、なまはげが飲んでいる酒は貴重な高級品なのだと伝えるためです。家長はなまはげにさらに酒を勧め、部屋の中の緊張感は少し解けます。